



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL http://www.fumakilla.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 高範 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,228	6.3	2,074	24.1	2,094	23.7	1,302	30.5
28年3月期第2四半期	20,919	16.3	1,671	17.1	1,693	16.2	997	13.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 669百万円 (△35.0%) 28年3月期第2四半期 1,031百万円 (6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	46.85	—
28年3月期第2四半期	35.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	25,434	10,565	34.6	316.24
28年3月期	31,626	10,245	26.6	302.27

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,792百万円 28年3月期 8,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	4.2	1,840	△1.4	2,020	2.4	1,090	△3.6	39.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	32,980,000株	28年3月期	32,980,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,176,043株	28年3月期	5,174,709株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	27,804,576株	28年3月期2Q	27,807,920株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	13
(1) 販売実績	13
(2) 海外売上高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

指標等	28年3月期 第2四半期累計	29年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	20,919	22,228	1,309	6.3
営業利益	1,671	2,074	403	24.1
経常利益	1,693	2,094	401	23.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	997	1,302	304	30.5
1株当たり四半期純利益	35円88銭	46円85銭		

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策の継続により緩やかな回復基調ではあるものの、円高による企業業績へ与える影響が懸念され、また世界経済においては、中国や新興国等の減速懸念に加え、英国のEU離脱や金融市場に不安定な動きが見られる等、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリーに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、コストダウンや経費の効率的な運用等による利益構造の改革及び海外事業の強化拡大等の課題に努めてまいりました。

国内売上につきましては、主力の殺虫剤の売上が好調に推移し、国内合計では前年同期比10.2%増の138億72百万円となりました。一方、海外売上については、インドネシアなど主要海外子会社の売上が現地通貨ベースでは二桁の伸びを達成しましたが、為替の影響により円貨ベースでは前年同期比0.3%増の83億55百万円(為替変動の影響を除くと22.9%増)となりました。その結果、売上高は前年同期比6.3%増の222億28百万円(為替変動の影響を除くと15.3%増)となりました。

売上原価は、前年同期比5.2%増の146億46百万円となりました。その結果、売上原価率は65.9%で、商品の売上構成の変動やコストダウン、為替変動(円高)による仕入価格の減少等により前年同期より0.7ポイント減となりました。

これらの結果、売上総利益は75億82百万円(前年同期比8.4%増)となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は72億61百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、経費の効率的運用に努めた一方で、販売活動のさらなる強化のため販売推進費を積極的に投入したことや売上増に伴う運送費の増加等により、前年同期比1.0%増の51億86百万円となりました。これらの結果、営業利益は20億74百万円(前年同期比24.1%増)、経常利益は20億94百万円(前年同期比23.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億2百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費(広告宣伝費のような政策費を除く)は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	28年3月期 第2四半期累計	29年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	16,820	18,050	1,229	7.3
家庭用品	354	349	△4	△1.4
園芸用品	1,535	1,482	△53	△3.5
防疫剤	870	977	106	12.2
その他	1,337	1,369	31	2.4
合計	20,919	22,228	1,309	6.3

殺虫剤部門につきましては、国内において2015年を感染症対策元年として位置づけて以来、今までにない高効力を実現した「効きめプレミアムシリーズ」を始めとするワンランク上の製品をお届けしてまいりました。2016年も従来品の5倍の効きめの吊り下げ型虫よけ「虫よけバリアプレミアム」、香りも効きめも約11時間持続する「フマキラー虫よけアロマ線香 ジャンボ」といった「効きめプレミアムシリーズ」の新製品を発売いたしました。また、日

本初の新虫よけ成分<イカリジン>を採用したお肌にやさしい虫よけ剤「天使のスキンベープ」、高濃度虫よけ剤「天使のスキンベープ プレミアム」、「天使のスキンベープミスト プレミアム」を発売いたしました。さらに8月にはゴキブリの隠れていそうなすき間にシュッとスプレーするだけの世界初次世代型ゴキブリ商品「ゴキブリワンプッシュ」、既存品に加えてこれらの新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与し、殺虫剤全体の売上が好調に推移しました。一方、海外におきましては、インドネシア、マレーシア、ベトナム等の子会社の売上が現地通貨ベースで二桁の伸びとなりましたが、為替の影響を受けたこともあり、国内及び海外の殺虫剤合計の売上高は前年同期比7.3%増の180億50百万円（前年同期比12億29百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、直前期に販売した花粉関連商品の返品が減少した一方で、主力のアルコール除菌剤の売上が競争激化により伸び悩んだ結果、家庭用品合計の売上高は、ほぼ前期並みの前年同期比1.4%減の3億49百万円（前年同期比4百万円減）となりました。

園芸用品部門につきましては、6ヶ月効果の強力除草剤「オールキラー粒剤」等除草剤の売上が好調に推移しましたが、園芸シーズンの最盛期である4月、5月の天候不順の影響を受けました。その結果、園芸用品合計の売上高は前年同期比3.5%減の14億82百万円（前年同期比53百万円減）となりました。

防疫剤部門はシロアリ施工事業関連が好調で9億77百万円（前年同期比1億6百万円増、12.2%増）、その他の部門は13億69百万円（前年同期比31百万円増、2.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて61億92百万円減少し、254億34百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億94百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が53億51百万円、棚卸資産が9億31百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて65億12百万円減少し、148億69百万円となりました。主な要因は電子記録債務が8億5百万円、売上割戻引当金が10億90百万円、返品調整引当金が3億20百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が7億65百万円、短期借入金が73億78百万円、賞与引当金が2億44百万円、長期借入金が1億87百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて3億19百万円増加し、105億65百万円となりました。なお自己資本比率は8.0ポイント増加し、34.6%となりました。

各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によって獲得した資金は87億31百万円（前年同期は68億96百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が20億94百万円、その他の引当金の増加額が11億50百万円、売上債権の減少額が49億93百万円、たな卸資産の減少額が7億42百万円あったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動に使用した資金は5億45百万円（前年同期は5億円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が4億97百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動に使用した資金は78億66百万円（前年同期は59億86百万円の使用）となりました。これは短期借入れによる収入が31億45百万円あった一方で、短期借入金及び長期借入金の返済による支出が合計で106億42百万円あったことなどによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末における借入金残高は、前期末に比べ75億85百万円減少して、27億67百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し、26億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては平成28年5月11日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,196,933	3,391,285
受取手形及び売掛金	9,454,463	4,103,251
電子記録債権	37,850	136,054
商品及び製品	4,164,456	3,619,181
仕掛品	882,458	613,839
原材料及び貯蔵品	1,542,656	1,425,530
その他	1,744,287	1,920,033
貸倒引当金	△1,177	△681
流動資産合計	21,021,928	15,208,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,847,940	1,741,322
機械装置及び運搬具(純額)	1,203,731	1,160,668
工具、器具及び備品(純額)	150,498	161,736
土地	696,090	687,031
リース資産(純額)	95,396	76,752
建設仮勘定	138,921	195,914
有形固定資産合計	4,132,578	4,023,425
無形固定資産		
のれん	1,040,129	916,341
商標権	956,979	830,837
その他	556,407	494,920
無形固定資産合計	2,553,516	2,242,099
投資その他の資産		
投資有価証券	3,536,974	3,576,977
退職給付に係る資産	47,572	67,752
その他	513,519	447,806
貸倒引当金	△179,320	△132,276
投資その他の資産合計	3,918,745	3,960,259
固定資産合計	10,604,840	10,225,785
資産合計	31,626,769	25,434,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,651,135	2,885,468
電子記録債務	1,675,745	2,480,964
短期借入金	8,412,504	1,033,510
1年内返済予定の長期借入金	373,823	354,860
リース債務	37,231	29,336
未払法人税等	257,071	819,148
賞与引当金	470,781	225,989
役員賞与引当金	34,300	—
売上割戻引当金	77,094	1,167,273
返品調整引当金	468,473	789,318
その他	2,599,680	1,977,391
流動負債合計	18,057,843	11,763,261
固定負債		
長期借入金	1,567,374	1,379,626
リース債務	51,213	40,035
退職給付に係る負債	282,660	259,128
役員退職慰労引当金	469,652	469,098
資産除去債務	9,158	9,245
その他	943,388	948,789
固定負債合計	3,323,447	3,105,922
負債合計	21,381,291	14,869,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	2,105,908	2,105,908
利益剰余金	3,354,975	4,379,594
自己株式	△1,570,329	△1,571,184
株主資本合計	7,589,234	8,612,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	830,818	850,887
為替換算調整勘定	34,678	△624,488
退職給付に係る調整累計額	△50,044	△46,625
その他の包括利益累計額合計	815,453	179,773
非支配株主持分	1,840,791	1,772,322
純資産合計	10,245,478	10,565,094
負債純資産合計	31,626,769	25,434,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,919,222	22,228,378
売上原価	13,924,922	14,646,165
売上総利益	6,994,299	7,582,213
返品調整引当金戻入額	347,068	293,728
返品調整引当金繰入額	536,613	614,879
差引売上総利益	6,804,754	7,261,062
販売費及び一般管理費	5,133,104	5,186,218
営業利益	1,671,650	2,074,843
営業外収益		
受取利息	30,255	18,853
受取配当金	40,597	40,227
その他	96,210	71,856
営業外収益合計	167,062	130,937
営業外費用		
支払利息	36,325	33,682
売上割引	59,559	68,655
為替差損	32,594	—
その他	17,210	9,367
営業外費用合計	145,689	111,705
経常利益	1,693,023	2,094,075
特別利益		
固定資産売却益	9,356	1,012
特別利益合計	9,356	1,012
特別損失		
固定資産除売却損	32	140
特別損失合計	32	140
税金等調整前四半期純利益	1,702,346	2,094,946
法人税、住民税及び事業税	802,170	929,887
法人税等調整額	△250,592	△314,054
法人税等合計	551,577	615,833
四半期純利益	1,150,768	1,479,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	152,890	176,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	997,878	1,302,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,150,768	1,479,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234,694	20,069
為替換算調整勘定	△366,452	△834,125
退職給付に係る調整額	12,404	4,932
その他の包括利益合計	△119,353	△809,123
四半期包括利益	1,031,415	669,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945,713	666,992
非支配株主に係る四半期包括利益	85,701	2,996

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,702,346	2,094,946
減価償却費	396,900	339,087
のれん償却額	35,327	28,173
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,069	8,600
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43,404	33,700
その他の引当金の増減額 (△は減少)	895,075	1,150,956
受取利息及び受取配当金	△70,852	△59,080
支払利息	36,325	33,682
為替差損益 (△は益)	△127,503	△10,661
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△9,323	△871
売上債権の増減額 (△は増加)	4,168,240	4,993,954
たな卸資産の増減額 (△は増加)	408,225	742,935
仕入債務の増減額 (△は減少)	243,311	139,815
その他	△522,452	△440,615
小計	7,180,957	9,054,623
利息及び配当金の受取額	70,852	59,080
利息の支払額	△33,701	△30,307
法人税等の支払額	△321,932	△350,653
その他	—	△1,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,896,175	8,731,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	97,320	39,879
定期預金の預入による支出	△110,321	△81,002
有形固定資産の取得による支出	△458,802	△497,908
有形固定資産の売却による収入	10,232	1,344
投資有価証券の取得による支出	△26,626	△1,140
その他	△12,141	△6,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,339	△545,236
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,886,163	3,145,380
短期借入金の返済による支出	△8,423,444	△10,456,498
長期借入金の返済による支出	△125,000	△186,475
リース債務の返済による支出	△21,383	△18,759
自己株式の取得による支出	△1,557	△855
配当金の支払額	△222,472	△278,052
非支配株主への配当金の支払額	△79,093	△70,968
その他	253	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,986,533	△7,866,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87,770	△175,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	321,532	144,178
現金及び現金同等物の期首残高	2,524,497	2,527,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,846,029	2,671,382

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,116,558	7,461,625	20,578,184	341,038	20,919,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	735,325	721,444	1,456,769	—	1,456,769
計	13,851,884	8,183,069	22,034,953	341,038	22,375,992
セグメント利益	847,732	727,144	1,574,877	35,539	1,610,416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,574,877
「その他」の区分の利益	35,539
セグメント間取引消去	61,233
四半期連結損益計算書の営業利益	1,671,650

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	東南アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,465,376	7,436,397	21,901,774	326,603	22,228,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	842,365	974,308	1,816,674	—	1,816,674
計	15,307,742	8,410,706	23,718,449	326,603	24,045,053
セグメント利益	1,148,510	764,636	1,913,146	42,431	1,955,578

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,913,146
「その他」の区分の利益	42,431
セグメント間取引消去	119,264
四半期連結損益計算書の営業利益	2,074,843

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社株式の追加取得による完全子会社化)

当社は、平成28年10月13日開催の取締役会において、連結子会社であるFumakilla Asia Sdn. Bhd. 及びPT. FUMAKILLA NOMOSの株式を追加取得し、完全子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. Fumakilla Asia Sdn. Bhd.

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称: Fumakilla Asia Sdn. Bhd.

事業の内容: 持株会社

② 企業結合日

平成28年12月中を予定しております。

③ 企業結合の法的形式

現金を対価とする非支配株主からの株式取得

④ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

Fumakilla Asia Sdn. Bhd. は既に当社の連結子会社ではありますが、当社グループを取り巻く経営環境の変化に迅速かつ的確に対応するために、グループ内における一層の連携を図るとともに、当社グループの経営体制の更なる強化を図るべく、同社株式を30.0%追加取得し、完全子会社化することとしたものであります。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)を適用し、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として会計処理をする予定であります。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価

現金及び預金 61.5百万RM (約1,522百万円、1 RM=24.74円で換算)

取得原価

61.5百万RM (約1,522百万円、1 RM=24.74円で換算)

2. PT. FUMAKILLA NOMOS

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 : PT. FUMAKILLA NOMOS

事業の内容 : 殺虫剤の製造販売事業

② 企業結合日

平成28年12月中を予定しております。

③ 企業結合の法的形式

現金を対価とする非支配株主からの株式取得

④ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑤ その他取引の概要に関する事項

PT. FUMAKILLA NOMOSは既に当社の連結子会社であります。当社グループを取り巻く経営環境の変化に迅速かつ的確に対応するために、グループ内における一層の連携を図るとともに、当社グループの経営体制の更なる強化を図るべく、同社株式を26.4%追加取得し、完全子会社化することとしたものであります。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)を適用し、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として会計処理をする予定であります。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価

現金及び預金 19百万RM (約470百万円、1 RM=24.74円で換算)

取得原価

19百万RM (約470百万円、1 RM=24.74円で換算)

4. 補足情報

(1) 販売実績

販売実績

(単位：千円)

事業区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	16,820,437	80.4
家庭用品	354,374	1.7
園芸用品	1,535,860	7.3
防疫剤	870,918	4.2
その他	1,337,632	6.4
合計	20,919,222	100.0

(単位：千円)

事業区分	当第2四半期連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	18,050,129	81.2
家庭用品	349,445	1.6
園芸用品	1,482,340	6.7
防疫剤	977,175	4.4
その他	1,369,287	6.1
合計	22,228,378	100.0

(単位：千円)

事業区分	前連結会計年度 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日	
	金額	構成比 (%)
殺虫剤	27,691,889	76.3
家庭用品	1,885,838	5.2
園芸用品	2,394,483	6.6
防疫剤	1,536,782	4.2
その他	2,779,371	7.7
合計	36,288,365	100.0

(注) 金額は純売上高(消費税等抜き)によっております。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,597,995	730,755	8,328,750
II 連結売上高(千円)	—	—	20,919,222
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	36.3	3.5	39.8

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,603,933	751,747	8,355,680
II 連結売上高(千円)	—	—	22,228,378
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	34.2	3.4	37.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー

(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア

3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)であります。